

ウェルネスバレー推進協議会の STATION Ai パートナー拠点への位置付けについて

1 経緯

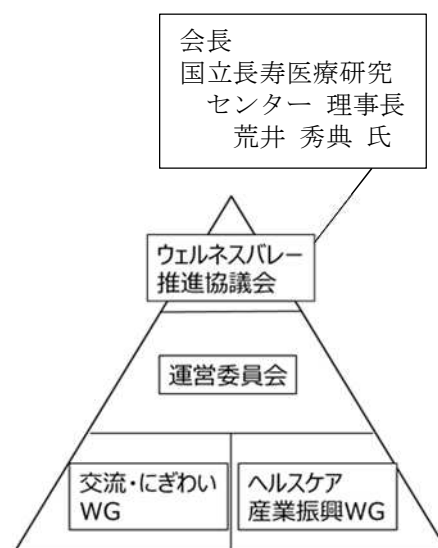
(1) ウェルネスバレー推進協議会の取組

- 大府市・東浦町では、健康・長寿に関する国立長寿医療研究センターを始めとする研究機関や医療介護施設が集積した、あいち健康の森とその周辺地区を「ウェルネスバレー」と命名。2011年に、「幸齢社会」の実現を目指すウェルネスバレー構想を推進するための組織として、ウェルネスバレー推進協議会（以下「協議会」という。）を設立。
- 協議会の下に設置される「ヘルスケア産業振興ワーキンググループ」では、ウェルネスバレー構想の基本理念の一つである「特色を活かした新産業の創出・育成」の取組として、2018年から医療介護現場のニーズと事業会社のシーズをマッチングして新規事業を創出する「医福工連携マッチング」を実施。マッチングした案件は、ウェルネスバレー地域の医療介護施設からの支援のもと、事業化を目指した実証事業を展開。
- 2021年には、本ワーキンググループにて、スタートアップと連携することを協議会として決議し、「医福工連携マッチング」にスタートアップの参画を推進。
- また、国立長寿医療研究センターが持つノウハウ活用や、豊富な医療介護施設の集積を活かした実証受け入れなど、地域を挙げてスタートアップ支援の仕組みを整備。

(参考) ウェルネスバレー推進協議会の概要

【協議会の構成員】

構成団体	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター あいち健康の森健康科学総合センター あいち小児保健医療総合センター 大府商工会議所 東浦町商工会 株式会社 げんきの郷 社会福祉法人 仁至会 あいち健康の森公園管理事務所 至学館大学 大府市（事務局） 東浦町（事務局）
オブザーバー （関係機関）	中部経済産業局 愛知県



(2) 愛知県とウェルネスバレー推進協議会の連携した取組

- 協議会は、2022年度から愛知県で開始した STATION Ai パートナー拠点の設立促進プログラムである「アイチ コ クリエイション スタートアップ プログラムAICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」に参加し、スタートアップ支援ノウハウを習得。
- そのほか、全国のスタートアップと県内企業とのオープンイノベーションを促進する愛知県の「あいちマッチング」事業への地域企業の紹介や、小中高生向け起業家精神育成事業である県の「AICHI STARTUP SCHOOL」への会場提供など、県のイノベーション・スタートアップ推進施策に協力。

(3) STATION Ai との更なる連携強化に向けた取組

- 今後、STATION Ai と協議会の更なる連携強化のための取組として、スタートアップに関する連携イベントの開催による情報発信の強化や、相談窓口の設置による支援体制の強化を行う予定。
- その第1回目として、2023年9月21日(木)にキックオフイベントをPRE-STATION Ai で開催し、ウェルネスバレーで支援を受けたスタートアップによるトークセッション等を実施予定。
- このキックオフイベントを機に、STATION Ai パートナー拠点認定に係る覚書締結式を行い、連携した取組を加速させる。

2 今後の展望

- 2023年9月21日(木)の覚書締結及び「STATION Ai パートナー拠点」への位置付けを基に、県が持つ国内外のプレイヤーとのネットワークと、ウェルネスバレー地域の強みである医療介護施設の実証フィールドを相互提供することで、各主体のスタートアップ支援機能を強化し、協議会と一体となったイノベーションを創出。
- 更には、これまでに協議会を中心に構築してきたウェルネスバレー地域ならではのスタートアップ支援の体制や、蓄積したスタートアップとの協業ノウハウと、STATION Ai との連携をスムーズにすることで、愛知県全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を促進。